

【担当教員名】 林河運	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・栄養・スポーツ・看護・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要】

ハングル文字の仕組みを理解した上で、初歩的な文法を習得しつつ、基本的な短文と日常生活でよく使う文型を反復練習し、簡単な日常韓国語ができるよう、勉強する。

【学習目標】

- 1 ハングル文字が読める。
- 2 簡単な韓国語の文章が理解できる。
- 3 簡単な日常韓国語が聞き取れる。
- 4 簡単な日常韓国語が話せる。

回数	授業計画又は学習の主題	学習方法・学習課題又は備考
1	挨拶のことば	覚えておきたい挨拶ことばを学ぶ。
2	体言の丁寧形	「～です」・「～ですか?」という文型を学ぶ。
3	体言の否定形	「～ではありません」という文型を学ぶ。
4	助詞<主題、添加>	「～は」・「～も」を学ぶ。
5	人称代名詞	私・私たちなどを学ぶ。
6	指示代名詞と指示形連体詞	これ・ここ・このを学ぶ。
7	助詞<所有>	「～の」を学ぶ。
8	助詞<主格、場所>	「～が」・「～に」を学ぶ。
9	助詞<並列>と位置関係のことば	「～と」・「上」・「東」を学ぶ。
10	助詞<目的>と用言の丁寧形	「～を」・「～ます、です/～ますか?ですか?」を学ぶ。
11	用言の否定形と助詞<目的地(移動)>	「～ません、くありません」・「～に」を学ぶ。
12	助詞<場所、手段>	「～で<場所>」・「で<手段>」を学ぶ。
13	助詞<比較、方向、共同>	「～より」・「～へ」・「～と」を学ぶ。
14	韓国の数詞	漢数詞と固有数詞を学ぶ。

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書				
その他の資料	適宜ハンドアウトを配布する。			

【評価方法】 出席・レポート・定期試験などから総合的に判断する。	【履修上の留意点】
-------------------------------------	-----------